

Vol.038

福島市議会真政会報  
— 平成26年4月 —

# 真政会報

## 真政会要綱

私たちは地方自治の信念に則り行政に対する監視と提言を怠ることなく、常に市民と行政のパイプ役として「市民」「議会」そして「市当局」との三位一体を旨とし、市民福祉の向上と地域の振興・発展、真の市政伸展に邁進することを誓う！



### 会長挨拶

### 平成26年3月定例会を終えて



宍戸 一照

真政会では小林市長就任直後から、速やかに特別職を選任して迅速な除染と復興対策を講ずるべきであると訴えてきました。そのうち、3月定例会において、副市長はじめ特別職の人事議案がようやく成立しました。副市長は、福島県職員からの出向、教育長は福島高校長を定年退職しての就任

です。さらには、さまざまな視点から会派において議論を重ねました。特に本県他市における県出向の副市長の在任状況は、2年余の在任が常であること、さらに小林市長の選挙公約は2人副市長制であることから、私たちは迅速な復興政策と市民本位と市民目線の施策推進の視点から、①副市長は「4年任期を遵守する」こと、②「次期副市長は本市を熟知し、本市行政についても精通する本市市民から選任する」ことを求めて、小林市長と事前協議を重ね、その実現にむけ私たちの要望を重く受け止めて頂いたことから議案に賛成致しました。

### 平成26年3月議会定例会の報告

3月定例会は、3月3日に開会。3月補正9億9千万円余及び、一般会計予算1,787億5千万円、また国の経済対策、大雪被害の農業被害復旧及び市道除雪等に係る追加補正25億3千万円余。水道事業及び特別会計755億円の予算審査。子ども子育て基金条例の制定や債権管理条例制定の件等の審査、先議をはじめ議員提案7件と継続中の請願を含む3件の意見書の審査等慎重審議を行い27日に閉会しました。

今議会では代表質問が行われ、会派を代表し真田広志会長代行が、一般質問では半沢正典議員、小松良行議員、二階堂武文議員、黒沢仁議員の順に質問に立ち、市政各般に亘る諸課題を質しました。予算特別委員会委員長に小島衛議員が、議員定数削減調査特別委員会委員長に渡辺敏彦議員が、議員倫理条例策定特別委員会委員長に黒沢仁議員が選任されました。

### 「安全安心なまちづくり事業の復活を求める決議」を先議により採択。今後、補正予算で実行を！

3月11日の3月定例会本会議において、当会派会長の宍戸一照議員より、安全安心なまちづくり事業の復活を求める決議案が提出されました。

本市において平成18年から25年まで実施されてきたこの事業は、地域からの提案に基づいて、道路側溝の修繕や道路反射鏡の設置などを行うほか、犯罪や事故の未然防止を図るための地域安全活動といったソフト事業に対して地区単位で助成するもので、市民の安全安心に資することはもとより、

市民と行政が一緒にまちづくりを考え住民の自治意識の更なる向上といった観点からも大変重要な事業です。しかし平成26年度当初予算には、遺憾ながら計上されませんでした。そこで私たちは速やかに安全安心なまちづくり事業を復活させるべく、3月定例会において議員発議による決議案を提出し賛成多数で採択されました。

今後、補正予算が直ちに実行され、市民の皆さんの安全安心が確保されるよう会派一丸となって活動して参ります。

TEL 535-1111  
FAX 533-7614

URL ▶ <http://www.sinseikai.net/>  
E-mail ▶ [host@fk-shinseikai.org](mailto:host@fk-shinseikai.org)

発行責任者 ▶ 宍戸 一照  
編集責任 ▶ 政務調査会



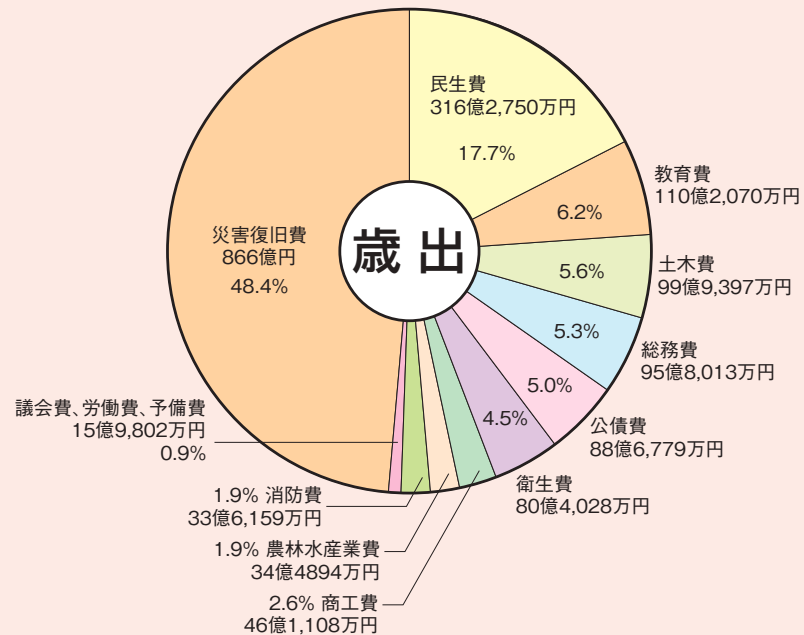
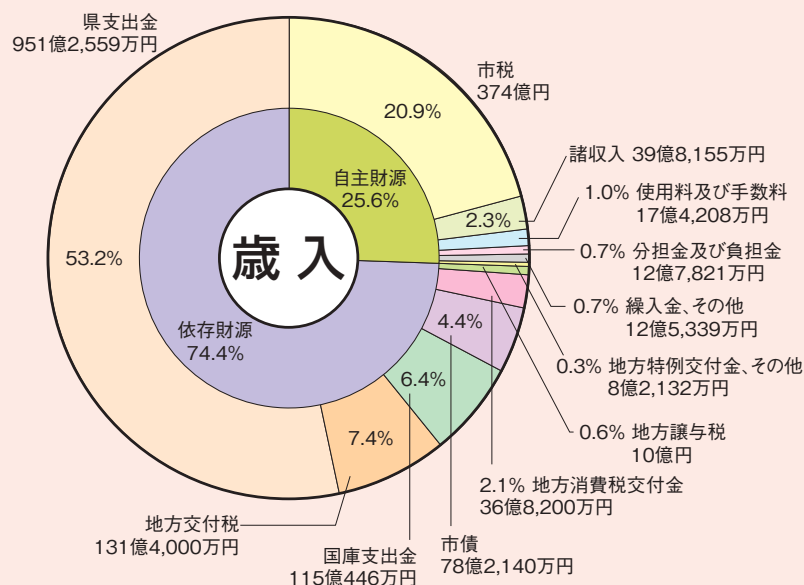
# ～平成26年度～ 当初予算の総額

## 「真政会」予算要望1～14に対する予算措置 (単位：千円)



<b>1. 職員の資質向上に向けた研修の充実と人事評価制度の確立</b>	
職員研修費	22,186
再任用職員給与費	422,715
<b>2. 福島復興再生特別措置法における制度の積極的な活用</b>	
<b>3. 福島復興再生特別措置法の制度活用による多様な税制優遇制度の創設</b> 「ふくしま産業復興投資促進特区」区域内事業者へ固定資産税の課税免除等を適用	
<b>4. 企業誘致と新たな工業用地の確保</b>	
企業立地促進費	15,987
医療、福祉関連企業トップセールス事業	1,161
工場適地開発整備検討調査費	8,800
<b>5. 農業の復興再生支援</b>	
風評被害対策費	14,044
地域の恵み安全対策協議会運営補助	11,438
放射性物質吸収抑制対策事業	155,600
営農再開支援事業	94,290
<b>6. 市民生活の安全と安心の確保</b>	
交通安全教育推進等事業	10,387
交通安全施設整備事業	62,500
吾妻山火山防災マップ作成事業	4,621
防災井戸設置事業	6,276
<b>7. 原子力に依存しない社会づくりの推進</b>	
再生可能エネルギー導入推進計画策定事業	5,000
太陽光発電システム設置助成事業	72,040
再生可能エネルギー導入促進等事業	105,400
街路灯LED化推進事業	45,287
<b>8. 計画的な健診による放射線健康影響調査の充実と健康対策</b>	
放射線健康管理事業	210,096
妊婦と子ども等の放射線対策事業	237,436
農産物、食品等放射能測定事業	193,755
給食まるごと検査	57,959
<b>9. 市道通学路、生活道路、側溝等の放射能除染対策の早期実施</b>	
道路、側溝除染	19,000,000
農地、農業用施設除染	1,280,542
<b>10. 大原総合病院建設計画等新中心市街地活性化基本計画の推進</b>	
上町地区周辺道路整備事業	14,000
中心市街地活性化推進事業	12,513
<b>11. 下水道施設の老朽化対策と耐震化の推進</b>	
公共下水道建設事業(面整備費含む)	1,512,600
<b>12. 生きる力を育む教育及び学力、体力向上への取り組み強化</b>	
教室等エアコン整備事業	462,668
学力グレードアップ事業	10,171
ふくしまの子ども体力アップ推進事業	4,927
ふくしまの子ども夏のリフレッシュ体験事業	123,000
<b>13. 消防設備及び地域消防施設の整備、充実</b>	
消防自動車等整備費	245,887
飯坂消防署移転新築整備事業	365,000
防火水槽、消火栓等整備事業	28,765
<b>14. 健全で効率的な財務運営による水道料金の検討と料金体系の見直し</b>	
水道料金等徴収業務委託	173,250
漏水防止対策事業	225,457

## 平成26年度 一般会計の歳入・歳出状況



### 平成26年度当初予算の総額

(単位：千円 %)

区分	平成26年度	平成25年度	対前年度増△減	対前年度増△減率
<b>一般会計</b>	178,750,000	159,900,000	18,850,000	11.8
国民健康保険事業費	27,237,285	28,205,282	△967,997	△3.4
下水道事業費	9,243,379	9,358,007	△114,628	△1.2
飯坂町財産区	141,031	106,839	34,192	32.0
公設地方卸売市場事業費	339,285	443,181	△103,896	△23.4
土地区画整理事業費	410,663	443,887	△33,224	△7.5
農業集落排水事業費	190,387	181,300	9,087	5.0
介護保険事業費	21,988,606	21,146,266	842,340	4.0
庁舎整備基金運用	1,001,500	1,001,000	500	0.0
後期高齢者医療事業費	3,163,401	3,026,568	136,833	4.5
青木財産区	1,547	1,447	100	6.9
小計	63,717,084	63,913,777	△196,693	△0.3
<b>水道事業会計</b>	11,784,587	9,588,533	2,196,051	22.9
<b>合計</b>	254,251,671	233,402,310	20,849,361	8.9

### 平成26年3月定例会代表質問(抜粋)

#### 本市復興方針について

道路等インフラが震災前の状態より創造復興しても、被災者の生活と地域の産業が復興しない限り被災地の再生はありえない、そのような視点からも大複合災害に遭遇した我々に求められる創造復興は、



▲第1番目に代表質問を行う真田会長代行

#### 3月定例会一般質問(抜粋)

##### 放射線対策としての全市民健康管理の推進

放射線対策として市民の長期的な健康管理の観点から定期的に個人データをチェックする体制整備が必要です。そのためには、現在、市が実施しているホールボディカウンタによる内部被ばく検査、ガラスパッチや積算線量計による外部被ばく検査などの個人毎の検査結果をデータベース化し、一元管理することが求められます。現在、市の対応としては、市独自のシステムを構築し昨年12月から内部被ばく検査結果をデータベース

まちを単に元の状態に戻す開

発復興ではなく生活復興に根差した新たな都市を創造することにあるのではないか、その様な観点にたち市長の大複合災害における「復興」に対する定義・考え方を伺うとともに、瀬戸市政における「復興施策」に対する評価と課題及び、新市長の復興ビジョンについて伺いました。

##### 財政運営の基本方針

財政の健全性を確保し、今後の財政運営や予算編成の目標・指針とするため、必要となる歳出の削減や基金、市債の計画的な活用などの目標を

定め、目標達成に向けた取組みが必要であることから、それらの観点から中長期的視点に於いて例えば市債発行、決算剰余金積立方針等財政規律、基金残高・財政指標等の具体的な数値目標を定めるなど、自治体経営の視点から財政運営の基本となる財政目標や、市独自の財政運営指針を定めることを含め財政健全化に向けた本市財政運営方針について伺いました。

##### 文化施策について

「地教法」(※)一部改正を踏まえ、特に文化面においては地域特性、総合性に立脚した広範な自治体文化政策を行う上でも、市長部局が一体的に掌握し執行すべきと考え

とともに教育、歴史・文化的見地のみならず都市政策的、街づくりの視点等も勘案した総合的価値観をも含め福島市の文化行政政策における市長の考え方について伺いました。

##### 危機管理について

危機管理指針及びマニュアル(個別対応計画、個別マニュアル(含め)策定の進捗及びリスク・マネジメント或いはクライシス・マネジメントの観点から、業務継続計画策定を含め今後の危機管理体制構築等危機管理方針について伺いました。

また、これら質問に加え平成26年度予算編成の基本方針や簡素で効率的な行政運営の施策等々についても質し、提言致しました。

##### メディアカルバレー福島構想について

あるとの質問に、今後、他市の事例も参考に検討いただく旨の答弁がありました。

小林市長が公約に掲げるメディアカルバレー構想は、県立福島国際医療科学センターを拠点とし、医療関連企業の集積により新たな産業・雇用の創出及び市内経済活性化を目指す構想ですが、工業用地の適地調査の結果、このほど

##### 集会所の改修補助事業の新たな見直しを!

集会所は、育成会から敬老会まで各年齢層の地域住民が利用しています。本市では、住宅の「高齢者住宅改修助成事業(改修工事の9/10を助

成。限度額18万円)」があり、手すりの取り付け・段差の解消・便器の洋式化などが進んでいます。しかし、高齢化社会の進展の中で集会所の改修が遅れており、「快適で安全な生活」からは程遠い状況です。

現在の「集会所建設費補助交付要綱」では、改修の場合補助対象事業費が、100万円以上でかつ1回利用すると15年間は補助金交付を受けることができず。各地区の集会所の改修を計画的に促すために、高齢者住宅改修助成事業を参考に集会所の改修助成事業の見直しが必要で

### 震災特別委員会総務分科会

#### 東京電力(株)石崎副社長他を参考人招致



▲東京電力(株)石崎副社長、他参考人(写真中央・奥)

2月14日、本市における、原子力災害に関する損害賠償請求について、東京電力株式会社代表執行役副社長兼、福島復興本社代表石崎芳行氏ほか2名を参考人招致し、損害賠償に対する見解を質しました。冒頭、分科会長からの「賠償について誠意ある対応がとられていないことは遺憾、誠意ある対応を求める」旨の発言に対し、石崎副社長より謝罪の言葉とともに、賠償方針について和解仲介の尊重と迅速かつきめの細かい対応を約束する旨の発言がありました。今後とも、精神的賠償の継続や風評被害への賠償等市民に寄り添った誠意ある対応を求めてまいります。

##### 児童数の推移に応じた学校の適正規模、配置

児童数の推移を通し、学校における教育的機能が十分に発揮されるには適正規模、配置が教育的見地から求められ

かった場所を詳しく調査し、絞り込みを行うとともに、医療関連企業への意識調査を実施し選んだ用地の企業ニーズを分析します。また、今後は成長が期待される企業を中心に誘致を進めていきます。市長は、「今後、企業の代表者や役員との会談を通じて、トップセールスを積極的に実施する」と述べられました。

ます。平成26年3月現在においては、原子力災害等による自主避難児童が452人地域外通学をしているものの、平成21年4月の1万6,404人から1万3,523人に約3千人の減少。そして、5年後の平成30年における児童数の推計は1万2,715人となり約8百の減少となる見通しです。

地域にとって学校はその核となる住民のよりどころとして地域のコミュニティの一端を担っていることから、検討委員会の建議を尊重しながらも慎重な対応を求めました。

(※)「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(H20年4月改正・施行)



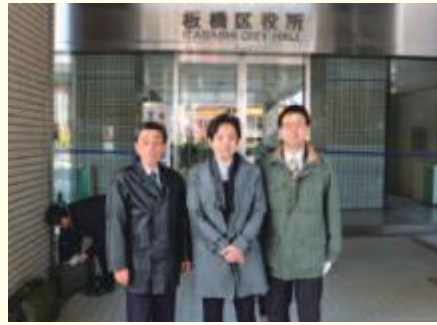
# 各常任委員会・分科会の報告

常任委員会は、少人数で専門的に審議をつくすために設置される委員会で、それぞれが所管する事務の調査、議案、請願、陳情の審査などを行います。【】内は当会派のそれぞれの所属議員名です。

## 総務

(定数9人)

【真田・渡辺・二階堂】



▲2月5日、板橋区役所で「業務継続計画について」視察

【財務部】今年度の当初予算も675億円と除染に係る事業費が最大比率となりました。これは、放射能災害から市民の安全と安心を守るためです。「ふるさと除染計画」に基づき、空間線量率の高い地域から重点的に面的な除染を進めると共に子どもや多くの市民が利用する施設、地域から要望のあるホットスポット対策に係るものです。また、戸別保管の除去土壌の仮置き場への搬入、新規仮置き場の設置推進の費用も含まれます。ただ、除染・搬送を計画通り遂行するためには、作業員の増員等が課題であります。

【総務部】松川支所・学習センター整備6億3千万円については、平成27年3月開所に向けた予算であり、今年度は、地域の防災拠点としての位置づけも踏まえ、太陽光発電設備設置工事も行います。

### 主な補正予算

- ふるさと除染実施事業費……………4,500,000(千円)  
(施工面積増、労務単価改訂等による事業費の増加に伴い追加)

## 文教福祉

(定数10人)

【中野・尾形・田畝】



▲2月3日、さいたま市役所で学校給食における食のアレルギーについて聴取

【教育委員会】原子力災害の影響下にあるなかで、子どもたちが安全・安心な学習環境で健やかに成長ができるように、小・中・特別支援学校・幼稚園にエアコンを設置します。また、食物アレルギー対策事業を実施し、児童・生徒への食の安全を図ります。さらに少子化に対応した市立学校の在り方の検討に注力していきます。

【健康福祉部】次代を担う子どもたちの健やかな成長と、安心して子育てができる環境づくりに資することを目的として1億円の基金を創設します。また、こんにちは赤ちゃん事業の継続実施等、子育て支援各種政策を充実させた新年度予算となっています。平成26年度から平成35年度にわたる「新福島市障がい者計画」が策定され、障がい福祉全般にわたる拡充を目指します。

### 主な補正予算

- がん検診事業費……………19,140
- 十六沼公園北側用地取得費……………544,924(千円)

## 経済民生

(定数10人)

【穴戸・黒沢・白川・菅田】



▲2月3日、京都市役所で「乾杯条例」について伺う

【環境部】再生可能エネルギー導入促進のため太陽光発電システム設置に対する助成件数の拡大や、電気自動車を導入し、その有効性のPRを図ります。【商工観光部】国内最大級の誘客キャンペーン「ふくしまステイションキャンペーン」のプレキャンペーンとして観光資源の発掘・魅力の発信・受け入れ態勢の整備を行います。メディアカバレッジの実現に向け、企業立地の促進と雇用機会の拡大を図ります。

【農政部】地元の産物を使った料理を募ってコンテストを開催し、果物の消費拡大を図ります。有害鳥獣被害対策を一層強化します。4月1日より転換となった福島市公設地方卸売市場の活性化を図り、耐震補強等の施設整備を進めます。【市民部】交通安全に対する教育や施設等の充実、都市間交流・国際交流を推進します。

### 主な補正予算

- 環境基金積立金……………500,000
- 工業団地用地取得助成金……………155,591(千円)

## 建設水道

(定数9人)

【小島・半沢・小松・萩原】



▲宇部市において橋梁長寿命化修繕計画を聴取

【下水道部】堀河町終末処理場下水汚泥減容化施設は、当初平成25年度末までに保管汚泥をすべて乾燥処理する計画でしたが、水分の割合が想定より高いものがあるため、平成26年10月末頃まで運転期間を延長することになりました。【都市政策部】平成22年からの第1期中心市街地活性化基本計画が平成26年度で終了しますが、計画期間内の目標指標の達成が見込まれないことから、平成27年度から平成31年度までの第2期基本計画を策定します。

【建設部】福島市ふるさと除染実施計画に基づき、仮置き場が設置された地区から住宅等生活空間除染の進捗に応じて市道等の除染を行います。また、通学路や側溝閉塞部については早急に除染を実施する必要があるためそれらの箇所についてはホットスポット除染を実施します。

### 主な補正予算

- 通学路等安全対策事業費……………40,000
- 子どもの元気アップ推進事業費……………34,488(千円)



行政視察

1月29・30・31日  
当市において参考となる先進地を視察

高知市 地域コミュニティの再構築事業について

高知市では、「コミュニティ計画」策定作業開始から約20年が経過し、高齢化、担い手不足などで地域コミュニティが弱まる中で、将来的な人口減少社会における公共サービスの在り方を考え、平成22年から地域コミュニティの再構築事業の取り組みを開始しました。個性を活かしたまちづくりを進めていくために、

「地域のことは地域で決める」という自治の原点を目指しています。具体的には、各種団体が地域内連携によって

香美市 地域活性化総合補助金について

香美市の地域活性化総合補助金事業は、25年度から開始した事業であり、それまで7つの要綱があったものを一本化したものです。補助事業としては、①地域活動事業②集会所整備事業③道路・水路・給水施設整備事業④特産物育成事業⑤農地・農道・水路整備事業⑥災害復旧事業があります。それぞれに、補助率と補助限度額が規定されています。特徴として、市民が利用しやすいように、相談窓口を政策企画財政課に一本化し、



▲政策企画財政課に窓口一本化

その後要望に対応できる窓口を案内してくれます。「今後は2回提出しなければならぬ交付申請書を一本化していくのが検討課題」と伺いました。本市においても、市民の利便性を図り、事務の簡素化に努めなければなりません。

徳島市 環境リーダー活動支援事業の展開



▲環境保全課の勝浦係長(左)と吉田さん(右)柔軟なアイデアと行動力が決め手

徳島市では「人と自然の共生により健全で恵み豊かな環境を保全し、将来の世代へ引き継ぐ」という理念のもと、行政と市民・事業者が一体となって環境保全に対応する「環境リーダー活動支援事業」を10年以上にわたり展開しています。市が環境リーダー定例会を開催し、市の職員も積極的に出席し、市の職員も積極的に出

供し続けており、市民と行政の信頼関係が出来上がっています。若い世代にも身近な環境に興味を持ってもらうべく「ぶらりエコカフェ」という環境講座を開催する等環境問題への入り方が工夫されています。本市にとっても環境問題や再生可能エネルギー問題は避けて通れない分野であり、徳島市の取り組み・手法を手本として本市ならではのスタイルを築いていく必要があります。

～ 4月から3委員会がスタート ～

議員定数削減調査特別委員会

昨年12月議会において、「福島市議会議員定数の削減を求める陳情書」が賛成多数で採択されたのを受けて、3月議会にて「議員定数削減調査特別委員会」を設置しました。当会派からは、委員長として渡辺敏彦議員、委員として白川敏明、萩原太郎、小松良行、半沢正典各議員が選出されました。今後、類似市の議員定数状況について人口、面積、予算等様々な角度から分析を行い併せて市民の皆様から意見を聴取し、次期市議選に向けて可能な限り早期に削減数を取りまとめます。

議員政治倫理条例策定特別委員会

議会基本条例制定にともない政治倫理に関する条例を策定するもので、議会基本条例第9章議員の政治倫理、身分及び待遇において、第30条議員は市民の負託に応えるため、高い倫理的義務が課せられることを常に自覚し、市民の代表として、良心及び責任感を持ってその責務を果たすとともに品位を保持し、識見を養うよう努めることについて定めたものです。12名の委員で構成され、当会派から、真田広志・尾形武・黒沢仁・田畝誠司・菅田憲孝の各議員が、そして、委員長に黒沢仁議員が選任されました。

議会広報委員会

4月からの福島市議会基本条例施行にあたり、福島市議会広報委員会が設置されました。中野哲郎副議長を委員長に、各派より1名ずつ選出された委員によって構成。今後、「市議会だより」や市議会のホームページにより、議会活動についての情報を分かりやすく、かつ積極的に周知するとともに、さらに多くの市民が議会及び市政に対して関心を持つよう広報活動に努めてまいります。当会派から、二階堂武文議員が加わります。

平成26年3月

定例会で採択された(抜粋)



請願	● 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出方について
意見書	● 大雪被害による被災農業者への支援策を求める意見書
	● PM2.5(微小粒子物質)に係る総合的な対策の推進を求める意見書
	● 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書
	● TPP(環太平洋パートナーシップ)協定交渉に関する意見書



### 当会派提出意見書が採択!!

平成26年2月15日の記録的な大雪により、本市は農業用大型鉄骨ハウスやパイプハウス、畜舎等に甚大な被害を受けた。平成26年2月28日現在、野菜類や花卉のハウス、稲・菊の育苗ハウス等456棟が倒壊し、被害面積は1023.83アールに及んでいる。また、牛舎・農具庫等の全半壊や特産である果樹類の枝折れ等の被害もみられ、今後調査が進むにつれてさらに被害が拡大するものと懸念される。

今回の大雪被害は、本市基幹産業の農業にとって、原発事故による風評被害に追い打ちをかけるような二重の大災害となった。この災害からの復旧のためには撤去作業や再建築に多大な費用と労力が必要となる。今般、国、県による復旧再建支援策が示されたが、本市被災農業者が意欲を持って早急に施設を再建し、農業が継続できる万全の支援策とは言えない。

よって、政府、県においては、更なる支援策として、次の措置を講ずるよう強く要望する。

- 1 被災農業者に対し、被災農作物未収益期間に応じた支援策を講ずること
- 2 果樹・農畜産物等の被害に対する支援策を講ずること
- 3 早急に支援制度を確立し、被災農業者に対して周知徹底を図ること

この意見書は、地方自治法第99条の規定により、福島市議会議長名で内閣総理大臣はじめ、農林水産大臣、福島県知事に提出されます。

**記録的な大雪被害対策の要望書を市長に提出**

2月15日の記録的な大雪により、農業用ハウス等の倒壊等、本市農業に甚大な被害を受けました。会派では現地調査や情報収集に努め、被害の全容を把握し国や県に支援を求める意見書を提出しました。本市に対しても支援を求める要望書を、3月5日に小林市長に提出しました。

主な項目として、農業用ハウスや農業施設等の再建・修繕費用の市独自の充分なる支援助成を講ずること。倒壊ハウス等撤去費用の市独自の民税や国保税の減免を講ずること。冷害時と同じように、被災農家への市度を確認すること等を要望しました。



▲雪により被害が出た農業用ハウスで

**記録的な大雪による農業用ハウス倒壊の現地調査実施**

当会派は2月27日に2月15日～16日にかけての記録的な大雪による農業用ハウス倒壊被害状況を現地調査しました。岡部・向鎌田地区は、キュウリの促成・抑制栽培の産地でパイプハウスや大型鉄骨ハウスが並んでいます。しかし、現地では無残にも鉄骨でさえ折れ曲がりつぶれてしまったハウス群の状況に、被害の大きさを改めて認識しました。今回は、岡島の青木さんの鉄骨ハウスを視察するとともに、農家の声を直接伺い、国等にどのような救済支援を求めていくか参考にしました。農家にとって、撤去費用と再建費用に加え、収入源が断たれたことから、早期の建て替え要望がありました。今後とも、撤去・再建状況等注視してまいります。

**真田 広志**

会長代行

総務常任委員長  
議員倫理条例策定特別委員  
議会改革検討会委員

松浪町 1-15  
TEL : 526-3201

**中野 哲郎**

顧問

副議長  
文教福祉常任委員  
議会広報委員長

飯坂町八幡新田 11-1  
TEL : 542-9111

**渡辺 敏彦**

顧問

総務常任委員  
議員定数削減調査特別委員長

松川町字青麻山 3  
TEL : 567-2660

**小島 衛**

顧問

建設水道常任委員  
予算特別委員長

太田町 14-2  
TEL : 535-1731

**宍戸 一照**

会長

経済民生常任委員長  
議会運営委員

荒井字上町裏 10  
TEL : 593-1035

**尾形 武**

政調会参与

文教福祉常任委員  
震災・原発対策特別副委員長  
議員倫理条例策定特別委員

松川町浅川字大古内 9  
TEL : 548-7683

**田畝 誠司**

幹事会事務局長

文教福祉常任委員  
議会運営委員  
議員倫理条例策定特別委員

さくら 3-1-10  
TEL : 593-0919

**萩原 太郎**

副幹事長

建設水道常任委員  
議員定数削減調査特別委員

山口字下屋敷 28-2  
TEL : 535-4693

**半沢 正典**

幹事会参与

建設水道常任委員  
議会運営副委員長  
議員定数削減調査特別委員

上島渡字寺北 28-3  
TEL : 593-5256

**黒沢 仁**

幹事長

経済民生常任委員  
震災・原発対策特別委員会理事  
議政倫理条例策定特別委員

飯野町大久保字  
谷津 44  
TEL : 562-3582

**編集後記**

大震災から3年、今年もしずしくなく花が散った。光のどかな春の日に、心から美しいと思える満開の桜、桜吹雪を見たいと思うのは私だけだろうか。一日も早く除染が進み子ども達が安心して暮らせる福島市に行きたい。

**蒼田 憲孝**

政調会事務局長

経済民生常任委員  
議員倫理条例策定特別委員

本内字西畑 4-6  
TEL : 553-7030

**二階堂 武文**

副政調会長

総務常任委員  
議会運営委員  
議会広報委員

町庭坂字内町 51-2  
TEL : 591-1138

**白川 敏明**

副政調会長

経済民生常任委員  
議員定数削減調査特別委員

飯坂町字中原 36  
TEL : 542-4041

**小松 良行**

政務調査会長

建設水道常任副委員長  
議会運営委員  
議員定数削減調査特別委員

瀬上町字東町 2-6-10  
TEL : 553-0647